

私募債活用、電子黒板など大野中へ



電子黒板を寄贈した草野謙輔社長(左から2人目)ら＝大野町黒野、大野中学校

チェックハウスと 大垣西濃信金贈る

住宅メーカーのチェックハウス(大垣市中ノ江、草野謙輔社長)と大垣西濃信用金庫は、大野町黒野の大野中学校に電子黒板とディスプレイスタンドを1セット寄贈した。

発行手数料の一部を企業が指定した学校などへの寄

付に充てる同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用した。チェックハウスの本店が大野町にあり、草野社長の母校であることから寄贈先に選んだ。

草野社長と同金庫の片野清法大野支店長が学校を訪れ、中川浩美校長に目録を手渡した。草野社長は「ぜひ教育のため使ってほしい」と話し、中川校長は「今後ICT化がより進んでいく中で活用したい」と感謝。同席した次期生徒会長の川越那奈さん(2年)は「授業や生徒会活動で活用したい」と話した。(鈴木隆宏)